



McAfee Complete Data Protection—Essential

基本的なエンドポイント暗号化ソリューション

重要なデータには紛失、盗難、漏えいのリスクが常に存在します。多くの場合、ラップトップやUSBデバイスからデータが流出しています。データを漏えいした企業は法的責任が問われるだけでなく、ブランドイメージが低下し、顧客の信頼を失うこととなります。信用回復にかかる費用も少なくありません。Ponemon Instituteの調査によると、会社のラップトップの7%は耐用年数を迎える前に盗まれたり、紛失しています¹。大容量のモバイル デバイスが急速に普及し、インターネット アクセスに利用されているため、データが流出したり、盗まれる機会は以前よりも増えています。機密データ、知的財産、個人情報の保護は最重要課題となっています。これらの問題を解決するソリューションがMcAfee® Complete Data Protection—Essentialです。

主な機能

- Management of Native Encryption
- File and Removable Media Protection

主な特長

- 巧妙なマルウェアを阻止し、重要な情報や個人情報の流出を防ぎます。
- デスクトップ、ノートPC、タブレット、クラウド ストレージのデータを保護します。
- エンドポイントのネイティブ暗号化 (Apple FileVault とMicrosoft BitLocker) をMcAfee® ePolicy Orchestrator® (McAfee ePO™) から直接管理できます。
- 高度なレポート機能と監査機能により、コンプライアンスを管理できます。
- イベントを監視して詳細なレポートを作成し、プライバシー保護法や社内規約に遵守していることを監査担当者や関係者に証明できます。

ネイティブ暗号化の管理

Management of Native Encryptionにより、ネイティブ暗号化 (Apple Mac OS XのFileVault、Microsoft WindowsのBitLocker) の機能をMcAfee® ePolicy Orchestrator® (McAfee ePO™) で管理できます。Management of Native Encryptionは、AppleとMicrosoftが提供するOS XとWindowsのパッチ、アップグレード、ファームウェアと完全な互換性があります。Appleの新しいハードウェアもサポートします。ユーザーがFileVaultやBitLockerを暗号化を有効にしている環境にもリカバリ キーを手動でインポートできます。

リムーバブル メディア、ファイルとフォルダー、クラウド ストレージの暗号化

データが編集、コピー、保存中かどうかに関係なく、特定のファイルとフォルダーを常に暗号化

します。McAfee Complete Data Protection—Essentialのコンテンツ暗号化は、データが組織外に移動する前に、選択したファイルとフォルダーを自動的にかつ透過的に暗号化します。特定のファイルとフォルダーに対して、ユーザーまたはユーザー グループごとにポリシーを中央で作成し、施行できます。ユーザーの操作は必要ありません。

セキュリティの一元管理と高度なレポート機能

McAfee ePOの集中管理コンソールを使用して、データの暗号化、監視、盗難対策を制御するセキュリティ ポリシーを環境全体に実装できます。暗号化、フィルタリング、監視、不正アクセス防止のセキュリティ ポリシーを中央で定義して配布し、管理と更新を行います。

仕様

Microsoft Windows OS

- Microsoft Windows 10
- Microsoft Windows 7、8、8.1 (32ビット/64ビット)
- Microsoft Vista (32ビット/64ビット)
- Microsoft Windows XP (32ビットのみ)
- Microsoft Windows Server 2008
- Microsoft Windows Server 2003 (32ビットのみ)

ハードウェア要件

- CPU: Pentium III 1GHz以上のラップトップ/デスクトップコンピューター
- RAM: 512 MB 以上 (推奨 1 GB)
- ハードディスク: 200 MB以上の空き容量

Apple Mac OS

- Mac OS X El Capitan、Yosemite、Mountain Lion、Mavericks

ハードウェア要件

- CPU: 64ビットEFIを装備したIntelベースのMacラップトップ
- RAM: 1 GB以上
- ハードディスク: 200 MB以上の空き容量

集中管理

- 技術仕様については、McAfee ePOのデータシートをご覧ください。

McAfee Complete Data Protectionスイートの機能

MacとWindowsでのネイティブ暗号化の管理

- Mac OS X Mountain Lion、Mavericks、Yosemite、El Capitanが稼動するMacハードウェアのFileVaultをMcAfee ePOで直接管理できます。
- Windows 7、8、10のBitLockerもMcAfee ePOから直接管理できます。Microsoft BitLocker Management and Administration (MBAM) サーバーを用意する必要はありません。
- McAfee ePOのレポート機能とダッシュボードを使用してコンプライアンス状況を報告できます。

ファイル、フォルダー、クラウドストレージの暗号化

- ローカルのハードディスク、ファイルサーバー、リムーバブルメディア、クラウドストレージ (Box、Dropbox、Google Drive、Microsoft OneDrive) など、保存場所に関係なくファイルとフォルダーを保護します。

集中管理コンソール

- McAfee ePOにより、ディスク全体、ファイルとフォルダー、リムーバブルメディアの暗号化を管理し、ポリシーとパッチの適用を一元管理できます。紛失したパスワードを復旧したり、コンプライアンス要件の対応状況を報告することもできます。
- Microsoft Active Directory、Novell NDS、PKIなどとセキュリティオプションを同期します。

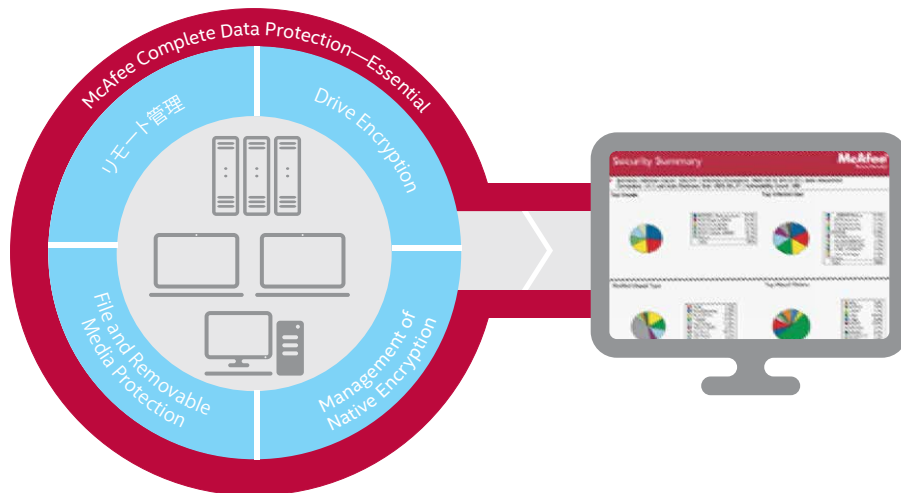


図 1. McAfee Complete Data Protection—Essential

リムーバブルメディアの暗号化

- 会社支給かどうかにかかわらず、モバイルストレージデバイスを自動的に暗号化します。
- VDIワークステーションのリムーバブルメディアを暗号化し、書き込みをブロックします。
- 暗号化されたデータにはどこからでもアクセスできます。デバイスホストに別途ソフトウェアをインストールする必要も、ローカル管理者権限も必要ありません。

- 高度な監査機能により、デバイスの暗号化状態を確認します。
- 送信者、受信者、タイムスタンプ、データエビデンス、前回ログインに成功した日時、前回更新を受信した日時、暗号化の状況などがログに記録されます。

マカフィーのデータ保護の詳細については、<http://www.mcafee.com/jp/products/data-protection/index.aspx> をご覧ください。



McAfee. Part of Intel Security.

マカフィー株式会社

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1
渋谷マークシティエスト 20F
TEL 03-5428-1100 (代) FAX 03-5428-1480
西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2
近鉄堂島ビル 18F
TEL 06-6344-1511 (代) FAX 06-6344-1517
名古屋営業所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-6-17
名古屋ビルディング 13F
TEL 052-551-6233 (代) FAX 052-551-6236
〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5-3-8
アクア博多 5F
TEL 092-287-9674 (代)

www.intelsecurity.com

1. The Billion Dollar Lost Laptop Problem Study (10億ドルの損失に相当するラップトップの問題) — Ponemon Institute, 2010年9月